

子どもと高齢者を支援する「JSSC」で好循環

こ ついた活動を維持する上で課題となる人材確保には、子どもたちの保護者など、趣旨に賛同する住民の協力を仰ぐことで対処しています。

浅田さんは「自治会役員だけですべての町内活動を行うのは難しい。住民同士の協力が地域のつながりを生み、活動も活性化しています」と話します。

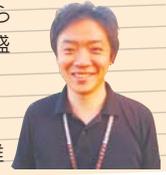
閑 静な住宅街が広がる東区の長嶺校区第1町内。平成26年度から自治会内にJSSC（ジュニア・シニア・サポート・センター）を設置し、従来子ども会や老人会で担っていた子ども・高齢者の見守り活動や居場所づくりなどに力を注いでいます。

「1町内は住民の高齢化に加え、大型マンション建設などによる子育て世代の増加もあり、これまで以上に子どもと高齢者の支援の必要性を感じた」と自治会長の浅田さん。これを受け、JSSCでは、「子ども・高齢者向け行事の開催や70歳以上の高齢者宅の巡回・連絡網作成、世代間交流を目的とした公民館の無料開放（月1回）などに取り組んでいます」（渡邊さん）。

住民同士の協力により、地域活動を活性化

地域担当職員からひと言

JSSCは自治会活動の中で、子どもと高齢者を地域全体で見守る体制を組織化した珍しい事例です。いつも笑顔の渡邊さんと、誰からも慕われる浅田さんの“最強タッグ”で、これからも長嶺校区第1町内を盛り上げてください！



託麻まちづくりセンター
地域担当主査 桂 貞雄



70歳以上の独居高齢者の定期訪問

元気な高齢者は防犯パトロールを、若い世代は近所の高齢者の見守りを行うなど、互いが支え合う地域を目指す1町内。活気ある明るいまちづくりをモットーとする浅田さんと、町内外の人脈を生かした調整力を持つ渡邊さん。

この両輪が今後も町内のまちづくりに欠かせません。



毎月第4日曜日に実施される「公民館無料開放日」の様子

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひと つながる



熊本市まちづくりセンター通信 vol.2

熊本市内各校区で、まちづくりに関わり、地域の活性化のために頑張っている人たちを紹介します。



長嶺校区第1町内自治会
会長
浅田 稔さん(73)

長嶺校区第1町内自治会
JSSC 会長
渡邊新介さん(80)

お問い合わせ

- 熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月～金曜 8:30～17:15)
- chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
- 託麻まちづくりセンター ☎096(380)8119



「まち・ひと・つながる」の紙面への感想をはじめ、まちづくりに関するアイデア、相談など左記にお寄せください。